

大牟田市立白光中学校

1 本校のESDの特徴

本校は、総合的な学習の時間（白光タイム）に福祉に関わる内容を主な学習としてESDに取り組んできた。1年生では絵本教室（認知症学習）と介護体験学習（高齢者との関わり）、2年生では職場体験学習（キャリア教育）と今年度より学習を始めた世界遺産学習（地域文化学習）、3年生では上級学校訪問（キャリア教育）と保育体験学習（幼児との関わり）、部活動等では白光クッキー社と吹奏楽部による介護施設等におけるふれあい活動を実施した。

この取組を通して、コミュニケーションを行う力や他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度を育て、人間性豊かな生徒の育成を目指している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年等	主なテーマ		
	世界遺産学習	福祉学習	キャリア教育
1年		5月…認知症絵本教室（19時間） 11月…介護体験学習（20時間）	
2年	11月…世界遺産学習（15時間）		5月…職場体験学習（24時間）
3年		11月…保育体験学習（14時間）	5月…上級学校訪問（12時間）
部活動等		5月…それいゆ祭（こもれび） 6月…明治校区ふれあい祭 9月…しらかわ祭 11月…手鎌地区文化祭	

3 特徴的な活動事例

＜第1学年の介護体験学習（施設体験）について＞

○目標：1学期の絵本教室を通した認知症学習を発展させ、介護施設を訪問することで、直接認知症の方や高齢者の方とのかかわり学びを深める。

○実践の展開

①認知症絵本教室の学習内容を振り返り、施設訪問学習で介護を実践しよう。

- ・事前学習で認知症の方や高齢者の方への対応を学習する。
- ・学習したことを施設訪問学習で実践する。

②施設訪問学習で学んだことをまとめ、「白光宣言」を作ろう。

- ・施設訪問学習で体験したことを模造紙にまとめ、発表する。
- ・今までに学習したことをもとに、共生社会を作るための「白光宣言」を作成する。

（生徒たちの様子）

- ・認知症の方や高齢者の方との接し方を通して、福祉への関心を深めることができた。また共生社会について考え、自分たちにできることを「白光宣言」を通して考えた。



<第2学年の世界遺産学習について>

○目標：世界遺産を通して、地域の課題を見つけ、自分たちにできることを発信し、これからの自分の生き方について考える。

○実践の展開

①大牟田の世界遺産について調べ、課題を見つけよう。

- ・G Tやガイドさんから世界遺産の歴史や価値について学ぶ。
- ・大牟田の世界遺産を巡り、地域の課題を見つける。

②京都の世界遺産から大牟田の世界遺産の課題解決のヒントを見つけ、自分たちにできる解決策を発信しよう。

- ・修学旅行で京都の世界遺産を見学し、地域の課題解決のヒントを見つける。
- ・修学旅行後、課題解決に向けた取り組みを行い、自分たちにできる発信を行う。

(生徒たちの様子)

- ・世界遺産巡りでは、課題を見出すためにメモを取りながらガイドさんの話を良く聞いていた。現在は修学旅行前で、課題解決に向けた取り組みを行っている途中である。



<第3学年の上級学校調べについて>

○目標：身近な上級学校調べを通して、自己の個性や興味・関心について考え、自分の進路選択や生き方について考える。

○実践の展開

①職場体験学習で学んだことをもとに、将来就きたい職業について考え、その進路について調べよう。

- ・チェックシートをもとに将来の進路について考え、夢実現に向けた進路を探る。

②上級学校調べを通して具体的な進路について考え、今後の進路選択や自己の生き方に役立てよう。

- ・G Tの出前授業を通して、各学科（工業科、総合科、看護科など）について調べる。
- ・上級学校訪問を通して、一日の高校生活を体験する。
- ・事後のまとめで、夢実現に向けた自分の進路について具体的に考える。

(生徒たちの様子)

- ・出前授業では、各グループに分かれて真剣にG Tの話を聞いて進路について調べた。上級学校訪問では、どの生徒も高校の授業を真剣に体験していた。



<部活動等の取組…それいゆ祭について>

(生徒たちの様子)

- ・吹奏楽部の生徒たちは、地域の方々に喜んでもらうため、日頃の練習を一生懸命頑張り演奏を披露した。
- ・白光クッキー社は、地域の方々との交流を通して、東日本大震災と熊本地震の復興を支援するためクッキーを一生懸命販売した。



4 本年度の成果と課題

○成果

- ・普段学校の中で見られない活発的な生徒の一面を見ることができた。

○課題

- ・新しい学習内容や題材を試みたが、満足した学習成果は出ていない。さらなるE S Dの視点に立った学習指導の工夫を検討する必要がある。